

要 望 書

《 国 道 3 4 9 号 整 備 促 進 に つ い て 》

【令和 6 年 1 2 月】

国道 3 4 9 号建設促進期成同盟会
会 長 根 本 匠

国道３４９号の整備促進について

国道３４９号は、昭和５０年４月に国道へ昇格以来、貴県の特段のご配慮により着実に改良整備が進められておりますことに感謝申し上げます。

当国道は、茨城県水戸市を起点に福島県の阿武隈山系を縦断しながら宮城県柴田町に至る実延長約２６０km、沿線３県・１８市町村に及ぶ路線であり、その路程の多くが阿武隈山系等山間部を通過し、未だ各所に幅員が狭隘で、かつ、屈曲の甚だしい区間が残されているため、国道としての機能を十分に発揮できておりません。また、沿線市町村の中心市街地等においても、大型車両をはじめとする通行量の増大により歩道等交通安全施設の未整備区間では歩行者等が危険にさらされているなど、地域住民より一日も早い改良整備が強く求められております。

道路は、言うまでもなく、人と暮らしを支え、豊かな地域社会を形成する上で、最も基本的な社会資本であり、さらに、今、我々市町村にとって喫緊の課題である「人口減少克服」と「地方創生」を進め、創意と工夫による魅力あるまちづくりを実現するためには、道路整備は不可欠であります。

また、東日本大震災において「道路」は、支援物資の運搬、緊急車両の通行など「命をつなぐ道」としてその重要性が改めて認識され、震災を教訓として幹線道路のみならず、それを補完する道路を整備し、代替性・多重性のある道路ネットワークの構築が強く求められており、正に国道３４９号はその機能を十分発揮できるものと我々は期待しております。

つきましては、沿線市町村の振興発展と沿線住民の安全・安心の確保、そして国道３４９号が災害時における幹線道路等の補完機能を十分に果たせるよう、沿線市町村が強く求める整備促進要望箇所について、早急に改良整備を図られるよう強く要望いたします。

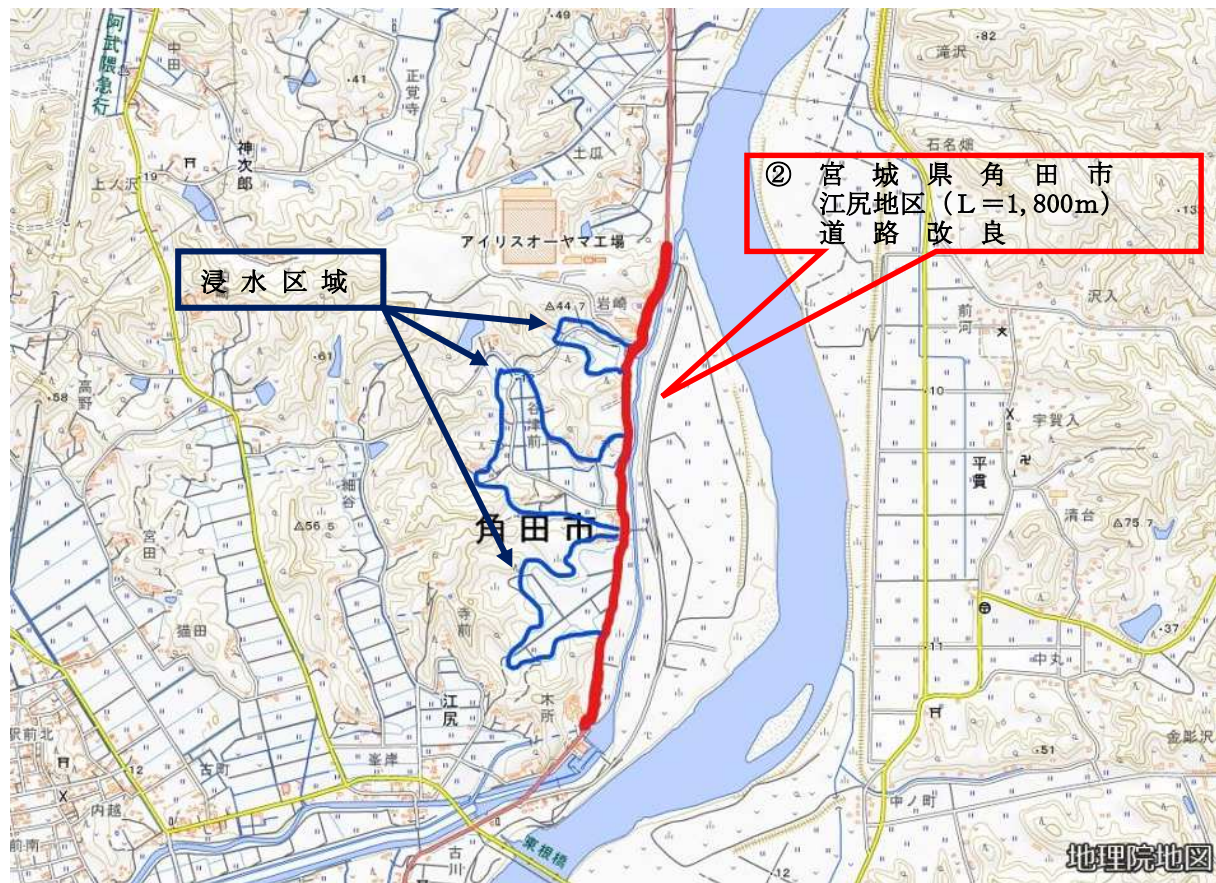
国 道 3 4 9 号 整 備 促 進 要 望 箇 所

市町村名	要望 番号	要 望 箇 所		事 業 内 容
		箇所名（地名）	延長 m	
柴 田 町	①	白 幡 橋	168	橋 梁 整 備
角 田 市	②	江 尻 地 区	1,800	道 路 改 良
	③	江 尻 ～ 小 坂 地 区	2,000	交通安全施設等整備
丸 森 町	④	大 張 川 張 ～ 耕 野 地 区	6,000	道 路 改 良

要望 番号	市町村名	宮 城 県 柴 田 町	
①	要望箇所	白 幡 橋	
		事業内容	橋 梁 整 備
		延長 (m)	1 6 8
		《現状と要望事項》 柴田町を縦走する一級河川「白石川」に架かる「白幡橋」は、国道 349 号を利用して角田市・丸森町、そして伊達市梁川町など福島県方面へ通じる重要な橋梁として年々通行車量が増大しており、さらに主要地方道白石・柴田線とも重複しているため、朝夕のラッシュ時には慢性的な交通渋滞が生じております。 貴県におかれては、平成 20 年度に地覆、高欄、照明灯の交換及び歩道橋塗装補修工事を、平成 26 年度には耐震補強工事を実施いただくなど、長寿命化対策を講じていただいているところではありますが、既に架橋（昭和 13 年）から 86 年が経過し、老朽化が著しい状況にあります。 つきましては、今後も通行量の増大が予想される「白幡橋」の安全を確保するためにも、早急な橋りょうの架け替えを強く要望いたします。	



要望 番号	市町村名	宮 城 県 角 田 市	
②	要望箇所	江 尻 地 区	
		事業内容	道路改良
		延長（m）	1,800
		《現状と要望事項》 角田市江尻～小坂地区は、平成11年度より交通安全施設等整備事業が実施され、Ⅰ期工事（L=1,000m）が平成21年度に完了したところであります。 上記を含む区間（L=1,800m）については、一級河川「阿武隈川」の支流「尾袋川」と並行している兼用堤区間となっており、路面の高さが十分ではないため、水位の上昇による越流の危険性が懸念されておりましたが、事実、令和元年東日本台風により越流し、整備後の歩道損壊や地域が冠水する等、多大な被害が生じたところであります。 つきましては、防災・減災及び通行の安全確保の面から、早急に嵩上げなどの改良整備を図られるよう、強く要望いたします。	



要望 番号	市町村名	宮 城 県 角 田 市	
③	要望箇所	江 尻 ～ 小 坂 地 区	
		事 業 内 容	交通安全施設等整備
		延長 (m)	2, 0 0 0
		《現状と要望事項》 角田市江尻～小坂地区は、平成 11 年度より交通安全施設等整備事業が実施され、Ⅰ期工事（L＝1, 000m）が平成 21 年度に完了したところであります。 しかしながら当箇所は、一級河川「阿武隈川」の堤防の一部を国道として利用しており、また、両側にガードレールが設置されている箇所もあるため、近年の交通量の増大、特に大型車両の増加によって、歩道未整備区間では歩行者・自転車が非常に危険な状況にあります。 つきましては、河川整備事業と一体的に進められるⅡ期工事（L＝1, 000m）の早期完成とその先の歩道整備を図られるよう、強く要望いたします。	



要望 番号	市町村名	宮 城 県 丸 森 町	
④	要望箇所	大 張 川 張 ～ 耕 野 地 区	
		事業内容	道路改良
		延長 (m)	6, 0 0 0
		《現状と要望事項》 丸森町大張川張～耕野区間は、福島県側へ通じる路線として「国道 4 号」や「東北自動車道」での大規模災害発生時や冬季間の凍結等による通行止めが発生した際の迂回路としての役割が大いに期待されております。 しかしながら、当区間は、幅員が狭隘でかつ屈曲が連続していることから接触事故が多発し、また、大型車両が対面交差を行うためには、一方が待避所まで後退しなければならないなど、危険を伴う区間でもあります。さらに、阿武隈川の増水時には冠水によって交通不能となる区間でもあります。 令和元年東日本台風により、山側斜面の崩落、路肩流出等が多数発生し、甚大な被害が発生したため、再度の災害防止の観点から山側別ルートで国直轄権限代行事業による災害復旧に着手いただいているところであります。 つきましては、当区間の早期完成を強く要望いたします。	



国道349号建設促進期成同盟会 構 成 員

会 長	根 本	匠	
副会長	宮 田	達 夫	(茨城県 常陸太田市 市長)
副会長	岡 部	光 徳	(福島県 古 殿 町 長)
副会長	保 科	郷 雄	(宮城県 丸 森 町 長)
	高 橋	靖	(茨城県 水 戸 市 長)
	小 川	春 樹	(茨城県 日 立 市 長)
	先 崎	光	(茨城県 那 珂 市 長)
	内 田	広 之	(福島県 いわき市 市長)
	佐 川	正 一 郎	(福島県 矢 祭 町 長)
	宮 田	秀 利	(福島県 塙 町 長)
	宗 田	雅 之	(福島県 鮫 川 村 長)
	澤 村	和 明	(福島県 平 田 村 長)
	村 上	昭 正	(福島県 小 野 町 長)
	白 石	高 司	(福島県 田 村 市 長)
	三 保	一	(福島県 二本松市 市長)
	藤 原	二	(福島県 川 俣 町 長)
	須 田	博 行	(福島県 伊 達 市 長)
	黒 須	貫	(宮城県 角 田 市 長)
	滝 口	茂	(宮城県 柴 田 町 長)

《国道349号全線図》



【沿線市町村】

◎宮城県

柴田町
角田市
丸森町

◎福島県

伊達市
川俣町
二本松市
田村市
小野町
いわき市
平田村
古殿町
鮫川村
塙町
矢祭町

◎茨城県

常陸太田市
日立市
那珂市
水戸市